

⚠ 注意 モデル表面に印刷物などが直接触れないよう
にしてください。
樹脂表面にインクが吸収されて消えなくなります。

MW35

妊婦内診シミュレータ



目 次

- はじめに P.1
製品の特長とご注意
- ご使用の前に P.2
セット内容・ご使用上の注意
- 取扱のご注意 P.3
- 準備 P.4～P.7
- 実習 P.8
- 後片付け P.9



動画サイト



日本語サイト



株式
会社 京都科学

<https://youtu.be/AyTJH0QNQxw>

このたびは、当社の「妊娠内診シミュレータ」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品は母性・助産技術の向上を目的に開発されたモデルです。妊娠末期から分娩期の妊娠の内診に関する実習教材としてご使用ください。

■ 特 長

- 新素材の外陰部と膣部の再現により、生体に近い感覚で妊娠末期から分娩第1期のビショップスコアを確認できます。
- 子宮口開大度モジュールは、ワンタッチで交換でき5段階の子宮口の開大度の触診が可能です。
- 内診のランドマークとなる、坐骨棘を再現しています。
- 小泉門を再現し、児頭の位置確認が可能です。

■ 実習項目

● 内診

- ・ 坐骨棘の確認による胎児の位置(ビショップスコア)を確認
- ・ 導尿カテーテルの挿入手順
- ・ 子宮頸部の細胞診標本の採取手順

● クスコ式膣鏡での確認

必ずお読みください

本来の使用目的以外にはご使用にならないでください。また、取扱説明書に記載された方法以外でのご使用による万一の破損や事故に関して、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。

※製品の一部に伸縮性と復元性、耐久性に優れた特殊軟質樹脂を使用しております。

取扱説明書P3の注意事項をお読みいただき、適切な使用、保管をお願いいたします。

セット内容

ご使用の前に、構成品が全て揃っているかご確認ください。



- | | |
|-------------------------|---|
| a. モデル本体
(腹部カバー付) | 1 |
| b. 外陰部ユニット
(納品時は別梱包) | 1 |
| c. 膀胱ユニット
(モデル本体に装着) | 1 |
| d. 子宮口開大度モジュール | 5 |
| e. モデル固定ベース | 1 |
| f. 潤滑剤 (500ml) | 1 |
| g. タルカムパウダー
(パフ付き) | 1 |
| h. タオルケット | 1 |
| 取扱説明書 | 1 |

ご注意：b. 外陰部ユニット、c. 膀胱ユニットにつきましては特殊軟質樹脂を使用しております。

実習後の保管は、モデル本体に装着のうえ、高温・多湿・直射日光を避けて保管してください。



注意

●取扱にご注意ください。

特殊軟質及び硬質樹脂を使用しており、また重量がありますので、落下や強い衝撃を与えると破損の原因となります。

●水又は中性洗剤で拭き取ってください。

汚れは水又は中性洗剤で拭きとってください。アルコールやシンナーなどの有機溶剤は、絶対に使用しないでください。

●印刷物をモデル表面におかないでください。

モデル表面に印刷物などが直接触れないようにしてください。樹脂にインクが吸収されて消えなくなります。

●ボールペンやサインペンで書き込まないでください。

サインペン、ボールペンなどでモデルに書き込むと、インクが吸収されて消えなくなります。

●高温多湿を避けて保管してください。

使用後は、高温多湿や直射日光のある場所での保管は避けてください。
変形や故障の原因となります。

●表面が変色する場合があります。

長期間使用されない場合や経年変化で変色することがあります、ご使用には差し支えありません。

必ずお読みください！

■ 外陰部ユニット、膣部ユニットの取扱い及び保管方法に関するご注意

伸縮性と復元性、耐久性に優れた特殊な軟質樹脂を使用しております。

下記の注意事項を必ずお読みいただき、適切な取扱いと実習後の保管をお願いいたします。

- 実習後は外陰部ユニットと膣部ユニットはタルカムパウダーを塗布し、付属の不織布の袋に入れて保管してください。



外陰部ユニット



膣部ユニット

- 他の樹脂製品や印刷物が直接触れないようにしてください。

他の樹脂製品や印刷物が直接外陰部皮膚に接触した状態で保管されると、表面に型が残ったり印刷物のインクが吸収され、消えなくなる場合があります。

- 適切な温度・湿度で、直射日光を避けて保管してください。

外箱に適切な保管温度の目安となる警告用シールが貼付しております。

気温が 60°C 以下の場所で保管してください。

60°C 以上になると左端の○印のマークが緑色に変色しますので、すみやかに保管場所を移動してください。

※ 1 度変色したシールは元の色に戻りません。

発色前

3F60 年 月貼付		
60	65	70

発色後

3F60 年 月貼付		
60	65	70

準備

子宮口開大度モジュールの取り付け

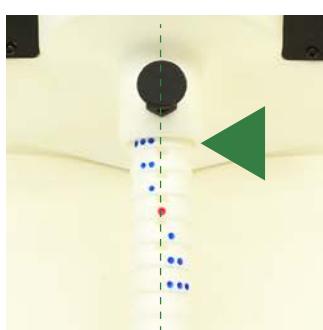
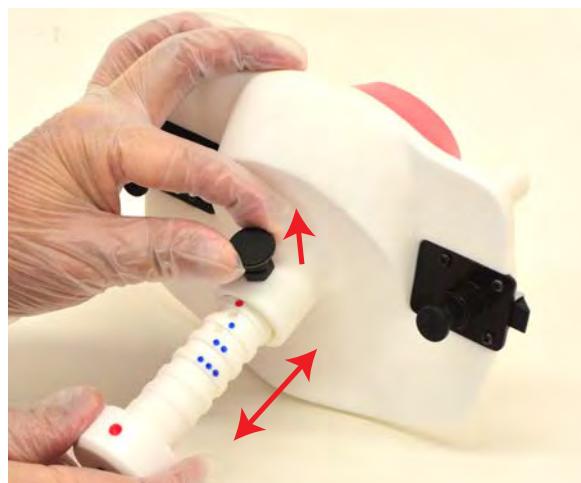
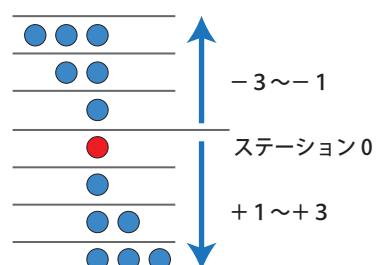
1. 子宮口開大度モジュールをモデル固定ベースに取り付けます。モデル固定ベース先端のマークと子宮口開大度モジュールの目印を合わせます。



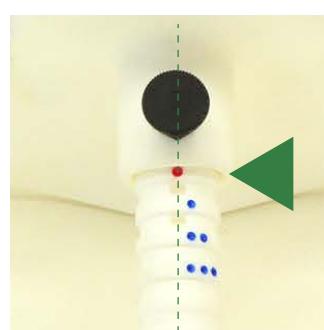
※モデル固定ベースの向きにご注意ください。先端の細い方に子宮口開大度モジュールを取り付けます。

2. モデル固定ベースの黒いつまみを持ち上げると支柱はフリーに動きます。支柱に取り付けた子宮口開大度モジュールを前後に移動して、胎児の下降度を設定することができます。

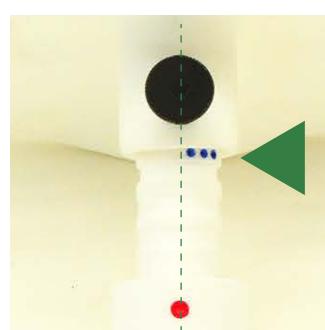
※胎児の下降度は7段階で設定することができます。



ステーション -3



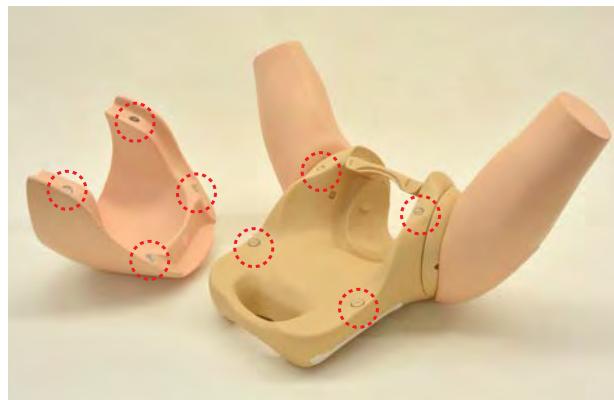
ステーション 0



ステーション +3

モデル本体の組立

1. モデル本体の腹部カバーをはずします。カバーは4か所のマグネットでボディに固定されており、上部に持ち上げることで取り外すことができます。



2. 外陰部ユニット下部2箇所の凸部をモデル本体の凹部に差し込み、そのまま上部を押さえると固定されます。



注：外陰部ユニットとボディの隙間に指を挟まないようご注意ください。



準 備

モデル本体の組立

3. 膀胱部ユニットをモデル本体に取り付けます。上下方向を間違えないようにしてください。

4 箇所の磁石部分を合わせながら腹部カバーを取り付けます。



潤滑剤の塗布

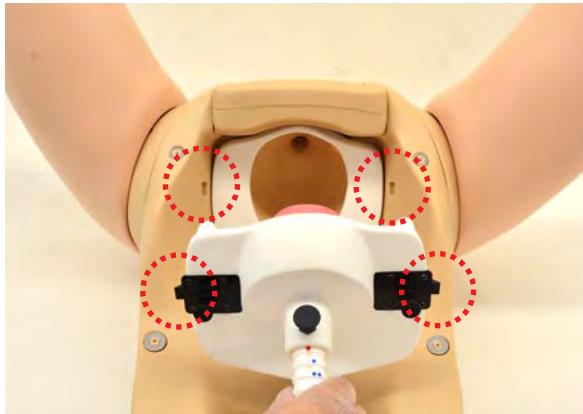
1. 膀胱部ユニットの内側、外陰部及び子宮口開大度モジュールに付属の潤滑剤を塗布します。



準 備

子宮口開大度モジュールの取り付け

1. モデル固定ベースのモデル本体への取り付け

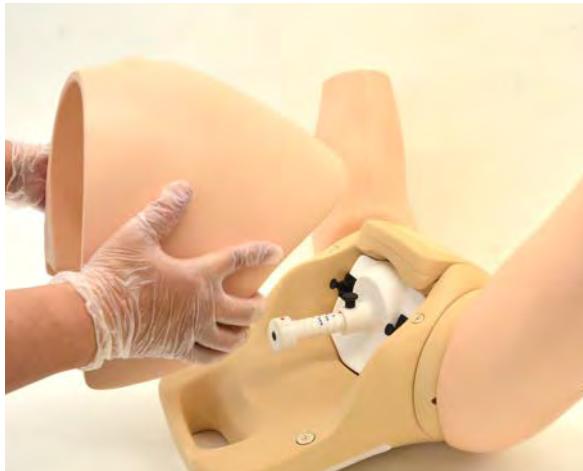


子宮口開大モジュールを取り付けたモデル固定ベースをモデル本体の内側からセットします。

※モデル固定ベース両サイドのフックをモデル本体の凹部に合わせて、カチッと音がするまで差し込みます。



2. 腹部カバーを取り付けると準備完了です。



実習・モデルの特長

実習は手袋を装着し、指に潤滑剤を塗布して内診を行います。

子宮口開大度モジュールは5種類です。



《モデルの特長》

- ・坐骨棘を結んだステーション0の認識が可能。
- ・小泉門による児頭の位置確認が可能。



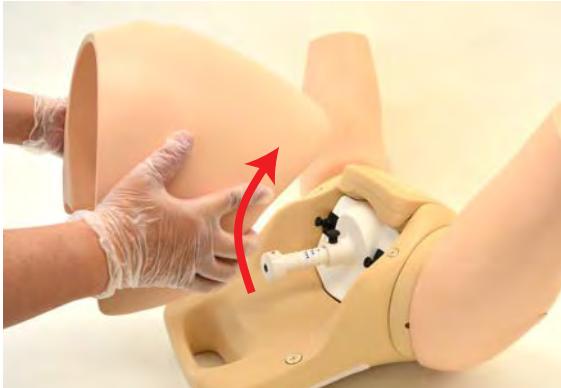
○ 子宮口開大度モジュールの交換

モデル固定ベースの左右にある黒いつまみを手前に引いてロックを外し、固定ベースを取り外します。子宮口開大度モジュールを付け替え、固定ベースを再度セットして実習を行います。



後片づけ

後片付け



○ 外陰部ユニットの取り外し

1. 腹部カバー持ち上げモデル本体からはずします。



2. モデル固定ベースの左右にある黒いつまみを手前に引いて固定ベースを取り外します。
ウエットティッシュ等で子宮口開大度モジュールに付着した潤滑剤を拭き取ってください。



3. 膀胱ユニットの端を持ち、手前に引き出します。ウエットティッシュ等で付着した潤滑剤を拭き取ってください。



4. 外陰部ユニットは、フレーム上部を手前に引いてボディから取り外します。ウエットティッシュ等で付着した潤滑剤を拭き取ってください。



※潤滑剤は水道水で洗い流していただいて構いませんが、十分に乾燥させ、付属のタルカムパウダーを塗布してください。

外陰部ユニットと膀胱ユニットは、特殊軟質樹脂を使用しております。

保管時は、外陰部ユニットと膀胱ユニットは付属の不織布の袋に入れて保管してください。

注：他の樹脂製品や印刷物と一緒に保管されると、長時間接触した他の樹脂製品が変質したり、印刷物のインクが吸収されて消えなくなります。

⚠ 注意

モデル表面に印刷物などが直接触れないようにしてください。
樹脂表面にインクが吸収されて消えなくなります。

交換部品

コード	品名
11415-010	子宮口開大度モジュール 5種組
11415-030	外陰部ユニット (内診、分娩介助共通)
11415-040	潤滑剤 500ml (詰め替え用)
11415-050	潤滑剤 500ml (詰め替え用)と専用ボトル



子宮口開大度モジュール 5種組



外陰部ユニット
(内診、分娩介助共通)



潤滑剤 500ml (詰め替え用)と専用ボトル

・ご不明な点は、お買い上げの販売店、もしくは下記（株）京都科学まで御連絡ください。



URL ● <http://www.kyotokagaku.com>
e-mail ● rw-kyoto@kyotokagaku.co.jp

■ 本社・工場

〒612-8388

京都府京都市伏見区北寝小屋町15番地

TEL : 075-605-2510 (直通)

FAX : 075-605-2519

■ 東京支店

〒113-0033

東京都文京区本郷三丁目26番6号

NREG本郷三丁目ビル2階

TEL : 03-3817-8071 (直通)

FAX : 03-3817-8075